

第13回役員会議案討議報告

Radixの会事務局長 竹内 周

7月16日の第13回役員会が台風により中止となり、全国の役員15名の書面による議案10点の検討結果をもとに、7月30日東京虎ノ門にて会長の五月女清以智氏（はるこま屋・栃木県）にお越しいただき、特別会員幹事副会長の後藤和明氏、川崎孝文氏、藤巻啓二氏（いすれもらでいっしゅぼーや）、事務局竹内の計5名で内容を討議いたしました。

Radix

Radix

■農産部会

〔議案1〕2002年度器機購入助成

6月に行なったアンケート結果より、簡易土壌分析器（Dr.ソイル）については、購入・助成希望者が依然あり、本年度も土壌分析器の頒布が望まれています。アンケート結果によると約50台の需要が見込まれるので、前年同様購入1台につき2万円の助成を行ない、予算200万円のうち100万円をDr.ソイルの購入補助に充て運用します。9月に一括募集し、申し込みを取りまとめ、10月に手配、納入（詳細は前年と同様の対応・決済とする）の予定で進めます。

〔議案2〕今後の勉強会の進め方

本年度の活動計画に上がっていた地域別勉強会の助成制度は現在試験的に進められています。現段階では、地域ブロックごとの開催の偏りや、招聘対象の講師を小祝氏と限定しているため、一部会員産地からは、別の講師への助成の希望が出ています。そこで、今後の進め方について、以下のように進めることとなりました。

①事務局にて未活用の地域ブロックに働きかけ、同様の勉強会（小祝氏）を企画する。

→北海道ブロック：11月ごろ

関東ブロック：10月ごろ

中部ブロック：10月以降

②小祝氏以外の個別の招聘については、本年度3月に遡り2万円程度の助成を行なう方向で検討を続行する。

〔議案3〕共同研究の予算を増額

予算の増額：昨年度より女子栄養大学辻村研究室とともに、Radix生産者と慣行栽培生産者の野菜の栄養分析および食味評価を行なっています。辻村研究室と分析調査を継続して行なうことで、Radix農産物の良さを示していきたいと考えて

います。昨年度の予備調査をもとに、今年度はより精度の高い試験を計画しています。また大学側の分析に係る実経費は150万円前後発生しており、上記金額を超える部分に関しては辻村研究室の負担となっています。当初予算は前年実績の50万円を共同研究委託費として計上しましたが、以上を勘案し30万円の予算増額を行ないました。

今後の予定：10月より昨年同様の3品目（レタス、小松菜、ホウレンソウ）の栄養分析および官能評価を予定。統計的な精度を高めるため、それぞれの品目について最大4産地（1産地あたり有機生産者1名、慣行生産者1名）のサンプリングを実施。分析項目として、タンパク質および脂質を除外し、食味に影響を与える呈味成分（糖・アミノ酸）の追加などを検討

■畜産部会

〔議案4〕肉類の食味・栄養分析試験

畜産部会では、会員生産者の生産する品物について、本年度まず肉類（牛肉・豚肉・鶏肉）において、対照品との比較を目的とした栄養分析、食味調査を行なう企画を検討してきました。

概要：9月より、会員生産者の生産する肉類の栄養分析を開始、年度予算150万円のうち135万円（税込み）をこれに拠出。目的は会員生産者の生産する肉類の客観的評価を行なうことで技術向上、具体的目標を見出すとともに、分析結果から客観的な優位性をも導き出し、より以上の販売向上に結びつけることです。

詳細：分析項目は栄養成分一式、脂質・コレステロール・不飽和脂肪

酸、アミノ酸など。分析検体数は全部で14検体。産地はえりも・積丹・鹿児島（牛肉）、長野・群馬・北海道（豚肉）、刀根・共栄ファーム・イシイファーム・西崎ファーム（鶏肉）の11産地、各畜種に比較対照のため一般の肉も加え検査します。分析委託機関は（株）三菱化学ビーシーエル。

〔議案5〕海外視察旅行について

前回役員会で承認された海外視察旅行の内容について、海外事情に明るい岸役員、中村役員を中心に検討を進め、今回詳細が固まりました。

主旨：国内で法制化が進みつつある「有機畜産」を前に、畜産部会では昨年末、初の自主基準集を上梓した。本年度においては各畜種での分科会を進めつつ、現在とりまとめの最終段階となっているらでいっしゅぼーやの「生産方針ガイドライン」内容協議を進めてきた。オーガニック先進国の事例に学ぶことで、今後、全体方針のさらなる骨肉化を図り、生産者各々の生産指標をより明確化していく。

日程：10月20日発、28日帰国でフランス、デンマーク、ドイツ各国の事例を視察し、併せてイタリアで開催のスローフードイベント「サローネ・デル・グスト」を視察。

参加費用：参加ひとりあたり、41万2,000円。最小催行人員15名。企画主催：Radixの会、旅行主催：ベストワールド株式会社

募集対象：らでいっしゅぼーや取引先畜産生産者、関連会社。Radixの会会員には参加費用を10～15万円の枠内で補助（帰国後2週間以内に会報掲載用のレポート提出のこと）します。

※ツアー詳細につきましては畜産関